

第907回

## 定例教育委員会会議録

日 時 令和5年1月25日（水）15：00～

場 所 益田市役所第二会議室

益田市教育委員会

## 第907回 教育委員会定例会

招集年月日 令和5年1月25日（水）15：00～

招集場所 益田市役所第二会議室

### 議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

議第1号 益田市公民館管理運営規則の一部改正について

報第1号 「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催状況について

第4 その他

(1) 情報提供

「第69回文化財防火デー」に伴う消防訓練の実施について

(2) その他

出席者

教育委員会	教 育 長	高 市 和 則
	教 育 委 員	梅 津 富美子
	教 育 委 員	大 庭 隆 志
	教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
	教 育 委 員	原 田 笑

事務局職員	教 育 部 長	長 嶺 勝 良
	ひとづくり推進監	大 畑 伸 幸
	教育総務課長	志田原 涉
	学校教育課長	田 原 正 紀
	学校教育課参事	松 元 善 生
	匹見分室長	齋 藤 一 臣
	美都分室長	田 中 一 史
	人権・同和教育推進室	岡 崎 勝
	教育総務課長補佐	齋 藤 勝 義
	教育総務課主事	三 浦 菜々子

高市教育長 ただいまより第907回益田市教育委員会定例会を開催いたします。

まず初めに、委員の交代がございましたので、ご報告をいたします。

12月26日より教育委員に原田笑委員が着任をされました。

最初に、原田委員から一言ご挨拶をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

原田委員 皆さん、こんにちは。原田笑と申します。

このたび教育委員を拝命いたしまして、大変微力ではございますけれども、教育委員としてはもちろん、ただいま4人の子供を育てている母親、保護者の一人としても尽力していきたいです。社会はやっぱり人でできていて、教育はその人づくりの一端を担っていると思います。その子供たちが、よりしなやかに、力強く未来を描いていけるように、微力ながら尽力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

高市教育長 ありがとうございます。

任期4年間ということになりますので、これから我が市の教育行政にご尽力賜ればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。

## 第1 会議録の承認

高市教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

## 第2 教育長報告

高市教育長 次に進みまして、第2の教育長報告でございます。前回の教育委員会からの活動状況です。

前回の定例会から本日までの間の私の主な活動についてです。

まず12月25日でございます。冬休み！算数・数学パワーアップ教室の初日ということで、当日挨拶等をさせていただいたところでございます。

続きまして、28日でございます。12月25日をもって委員の任期を終了とされました中野前委員がいらっしやいまして、忘年会をし、今までのご尽力に対してお礼を申し上げたところでございます。

続きまして、年が明けまして1月7日でございます。令和4年度

益田市二十歳の集いを開催いたしたところでございます。こちらにつきましても、教育委員の皆様にもご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。例年ですと、成人式という名前で行っていたものでございますけれども、民法等が改正されたことに伴いまして、成人年齢が20歳から18歳に変わったというところがございます。そのため、引き続き会に参加するのは20歳の方々というところではありますが、さすがに成人式というわけにもいかないもので、名称を二十歳の集いと変えました。今まではどちらかというと、高校時代、中学校時代を懐かしみ、思い出するという側面が強い会でございます。今回から、自分たちが地域によっていろいろ育ててもらってきた、またその20歳になった若者たちが、今後自分たちがどのように地域また国内、世界において貢献を頑張っていくのか発表するような会という形で位置づけを変えて実施をしたところがございます。

引き続きまして、1月10日でございます。10日から本日、市内の学校は年明け初めての日ということで小・中学校が始まったところでございます。それに合わせまして、給食も再開をするということで、給食を調理していただいております美都の給食調理場に伺いましてご挨拶をさせていただきました。

続きまして、1月17日でございます。こちらは、令和4年度益田市教育審議会を高津の給食センターにおいて実施をさせていただきました。こちらにつきましても、教育委員会のほうから今年度実施をしました教育委員会の自己評価、点検・評価の結果についてご報告をさせていただくとともに、給食についても議論をしていただいたところがございます。会議は午前中に行いまして、会議が終わった後、益田市の給食について食べていただきました。引き続き委員の皆様には高津の給食と一緒に食べていただき、現在の益田市の給食の状況についてご理解をいただいたというところがございます。

続きまして、1月19日でございます。始良・伊佐地区教育長会という鹿児島県の教育長の会議ですけれども、一応構成が霧島市、始良市、伊佐市、湧水町というこの4市町が構成の地区でございます。こちらの教育長会の方々が、我が市のライフキャリア教育について視察をされるということでお越しになりました。当日来られたのが、始良市、伊佐市、湧水町の教育長様でして、残念ながら霧島市の教育長におかれましては、業務のため参加されなかったですが、3市町の教育長がいらっしやいまして、我が市のライフキャリア教育の実情と成果等をご説明させていただいたところがございます。

同じ日でございますけれども、第9回益田市子ども議会が開催をされました。こちらは、益田東中学校の生徒さんが実際に市議会の議場に来られまして、模擬議会ということで、我々執行部また市議会議員の方々と議場で模擬市議会を行ったというものでございます。こちらは本来であれば昨年中に行う予定でございましたが、市内はその当時新型コロナウイルス感染症が結構感染が拡大をしていた時期であったということがあり、延期になっていたものを19日に行ったものでございます。こちらは、当初予定されていたときの生徒会の方々がいろいろ市側に対して質問を考えられて、事前に通告をし、それに対して回答をつくるという、いわゆる普通の議会と同じような取組でやられました。19日の段階ではちょうど新生徒会にもう学校側はなっていたということですが、実際は当日質問をされたのは旧生徒会で、実際質問を考えられた生徒さんが質問に立ち、その後ろの空いている席に新生徒会の役員の方が実際に議場に座って、実施をしたところでございます。なかなか生徒さんから鋭い質問をいただいたところで、教育に関しては幾つか、学校の登校時間のことであったりとか、また朝の部活動ができないのかであったり、あとは理科の実験の備品の整備状況などの質問をいただきました。今申し上げたのは教育のことですけれども、それ以外にも買物弱者の方々、買物に困っているの方々に対する支援というのは何かないのかというような、非常に生活に密着をしたような質問というものもいただいたところでございます。ぜひそういったところを含めて、子供たちの主権者教育の一環で行っているものですが、主権者としての意識、また地域に対する考え方というのを深めていってもらいたい機会になったのではないかと考えております。

以上、簡単ですが、前回から本日までの私の活動のご報告になります。

そこで、市に対していろいろご寄附等をいただいていたものがございます。それについては、参考資料という形でお配りをしていたわけですが、ご寄附等をいただいているということで、やはり教育委員会の場で私からご報告をさせていただくのが適当だろうと考えましたので、今年から、このタイミングで今月どのようなご寄附があったのかについてご報告をさせていただければと思っております。

今回はお一人でございます、岸田智様から奨学金ということでご寄附をいただきました。この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げて、ご報告とさせていただきます。

では、私からの報告というのは以上でございますけれども、何か

ご質問、コメント等ございましたらよろしくお願ひいたします。

大庭委員

二十歳の集いですが、今まで二回出席させていただきました。最近はコロナの発生ということで中止だった年もありましたので、無事開催できてよかったと思います。ところで、今年度も市民体育館でやりましたけども、来年はグラントワでやるような考えはありますか。

大畑推進監

グラントワの方と話をしてはいますが、グラントワは実はあの日程でグラントワ・カンタートを予定しているということなので、今調整をして、申請しているところでございます。こちらとしてはグラントワで開催したいと考えております。

大庭委員

というのは、1点心配がございまして、昨年も思ったのですが、今年度もやっぱり音が結局反響して、サイドで聞いているとよく聞き取れないのです。そういったこともあるので、やはりやるからにはきちんと話の内容も聞きたいですし、何をしているかがよく分かる状態で参加してお祝いをしたいなと思っています。ご検討をお願いいたします。

以上です。

高市教育長  
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

=全員了承=

### 第3 議題

#### ○議第1号 益田市公民館管理運営規則の一部改正について

高市教育長

本日は、1件の審議事項と1件の報告事項となっております。

まず初めに議第1号 益田市公民館管理運営規則の一部改正についてから進めさせていただければと思います。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

大畑推進監

じゃあ、資料のほうをご覧ください。

このたび真砂地区におきまして益田市立地域活性化交流館という名前の学校、公民館等々、地域の複合施設が完成しました。その管理におきましては、主に学校機能以外の公民館ということで位置づけながら管理等々を進めていくことになりました。よって、公民館の規則において、その光熱費の使用料等を定めていくということになっております。

ちなみに、交流スペース1と交流スペース2ということで見ていただきますと、ずっと下をめくっていただきますと、その次の条文のところでございます。四角で囲んである表でございまして。このところで、益田市真砂公民館交流ルーム1及び交流ルーム2、電気

及びガス使用に係る実費、これを規則において定めることとしました。ここにつきましては、それぞれ子メーターがついておりますので、実費を月ごとに払っていただくということで、そこを占用される方に対しての規定を本規則によって定めるものということでございます。

めくっていただくと、申請等々、それから許可等々の様式がございます。また一番下に新旧の比較表がございますので、それを見ていただくと、付け加わったところが真砂公民館に係る占用使用に関するこの規則で定めた部分です。月ごとに払っていただくということが今回盛り込まれるというのが一部改正の趣旨でございます。

ちなみに、そこの占用使用料につきましては、条例において既に定まっておりますので、今回定めますところは光熱水費等々の使用料だけです。

以上でございます。

高市教育長

ありがとうございます。

では、本件につきましてご質問、コメント等ございましたらお願いいたします。

原田委員

すみません。基本的なことで申し訳ないのですが、交流ルームの1と2それぞれメーターがついていて、それぞれで数値がちゃんと出るようになっているということでしょうか。

大畑推進監

基本的に貸し出すことを前提に考慮しておりますので、それぞれのところで光熱水費が計算できるようになっています。

原田委員

分かりました。

高市教育長

いわゆる交流ルーム1、交流ルーム2というのは、以前真砂の複合施設を見学していただいたかと思うのですが、いわゆる学校、公民館が入っている場所の反対側の建物のところが交流ルーム1、交流ルーム2という形になってございます。

そうしましたら、本件、採決に移りたいと思います。それでは、この件について承認いただけます方は挙手をお願いします。

教育委員

=全員挙手=

高市教育長

挙手全員ということで、承認されました。つきましては、事務局におかれましては必要な手続等を進めていただくようお願いいたします。

## ○報第1号 「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催状況について

高市教育長

続きまして、報第1号 「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催状況についてです。それでは、事務局より説明をお願いします。

松元参事

よろしく申し上げます。

それでは、冬休み！算数・数学パワーアップ教室の報告をさせていただきます。

資料は2種類ございます。まず、説明資料としましてパワーアップ教室報告と書かれた資料をご覧ください。

期日につきましては、12月の定例教育委員会でもお知らせいたしましたけども、12月25日日曜日から27日までの3日間行いました。

場所については、特に変更なく、25日から27日まで市民学習センター会場、それから2日目、3日目のつまり26日、27日は横田中校区の豊田公民館で行ったところです。

参加者につきましては、特にコロナのことも心配しておりましたけども、島根大学、松江高専の学生は、予定どおり島大生は10名、松江高専の学生は6名ということで16名の参加をいただいたところです。

それから、3番の(2)番になるのですけども、小・中学生につきましては、最終的に申込者数については小学生が25名の申込み、それから中学生は30名にお申込みいただいて、②の会場別人数というところにつきましては、そのような形になっております。

延べ人数ということになりますけども、小学生は55名、中学生は54名ということで、合わせて109名の小・中学生に参加をいただいたところです。この学生について、ここに記載はしておりませんが、これまでこのパワーアップ教室といいますのは令和3年度からスタートしまして、今回2年目になります。回数にしたら今回4回目の開催になるのですけども、リピーターといいますか、初めての参加ではなく、2回以上といったリピーターの方の内訳については、小学生が25人のお申込みのうち11名ということで約44%の小学生が、それから中学生については申込みが30名に対し6名の中学生ということで20%のリピーターになります。大学生につきましては、これは12月の教育委員会でもお伝えしましたけども、16名のうち約半数の8名の学生が今回2回目以上の参加ということになっております。

4番の活動内容につきましては、2枚目、2種類目の資料をご覧くださいと思います。

このような形で3日間開催したところですけども、特に変更なくこのような形で行いました。大学生・高専生の企画①から④まであるのですけども、これが昨年度と違って大きな変更となっております。昨年度は一部の学生のみにもいろんな企画を考えてもらい、実際

に司会進行などの運営を行っていただきました。ですが、今回は16名の参加者全てに役割を持っていただきながら、子供たちに教える内容を考える、それから資料をつくる、それから実際に指導をするというところを全ての学生に担っていただいたという形になっております。これが大きな変更点となります。

プログラミング学習というのが1日目、25日にありますけども、これはスクラッチという言語を使って、子供たちに配付された1人1台端末というのを持参してもらい、それを使ったプログラミングの学習をしたところです。

それでは、改めてですが、1枚目の資料にお戻りください。

1枚目の資料の5番のアンケート結果をご覧ください。

子供たち、大学生に、一応終わった後にアンケートを取らせていただいています。その結果をまとめたものがこのような形になっています。結果の肯定的評価の割合と書かせていただきましたけども、様々な質問に対して「とても思う」とか「やや思う」とかということで肯定的な回答をしていただいたパーセンテージを表しています。小学生、中学生が、最初に書いてありますけども、おおむね高評価をいただいております。大きな変化といたしましては、例えば3つ目のアンケートの難しい問題にもチャレンジしたい気持ちが参加する前よりも強くなったという回答が、昨年度は中学生がなかなか伸びにくかったのですが、今回は90%を超えているという回答をいただいています。アンケートの比率を見たときも分からない問題を学生が分かりやすく教えてくれたとか、1人だったら多分ほったらかしたけど、横にいてくれたのでよかったと、諦めなかったという回答もありました。こういった難しい問題については、特に1対1に近い形で子供たちに学生たちは関わっていただきましたので、効果があったのではないかと考えております。

それから、その下の表の大学生、高専生16名から得た回答ですけども、これは軒並み100%回答をいただいております。複数回出た学生も半数いて、本当に益田の子供たちを教えることも好きなのだけど、益田という町が好きになったということも書いていただいています。子供たちに教える喜びと同時に益田市のよさも知る機会になったということを考えていますので、またそういった機会がさらに充実するようにと考えております。

次の機会なのでですけども、3月27日、今度は春休みパワーアップ教室を行う予定です。昨年はありませんでしたが、今年初めて春休みに行います。3月27日月曜日から3日間行います。27日から29日までの3日間行いますので、またそれは改めて委員の皆様

には連絡させていただこうと思います。

なお、最後になりますが、大庭委員さんに市民学習センターのほうにお越しいただきました。ご意見をいただきましたので、それも含めて対応させていただければと思います。どうもありがとうございました。

以上です。

高市教育長

ありがとうございました。

では、本件につきましてご質問、コメント等がございましたらお願いいたします。

大庭委員

先ほど松元さんのほうからの説明がありましたけど、難しい問題にチャレンジしたい気持ちが参加する前よりも強くなったという、これが95%、93%と非常に高い割合で素晴らしいと思います。やはり子供ってというのは経験しなるとなかなかよさというものが分からないと思うのです。ですから、問題を解くことの楽しさ、それが大学生あるいは高専の生徒さんを通じて体験できたということが、やはりこういった意識の向上につながったのではないかと思うので、僕はそこを大事にしたいなと思っています。

それから、学生の皆さん全て100%が、とにかくこのたびの2年目の算数・数学パワーアップ教室に対してもパーフェクトで「いい」という回答をいただきました。やはりこれを大事にして、また3年目のパワーアップ教室につなげていただけたらいいなと思います。よろしくをお願いします。

高市教育長  
梅津委員

ありがとうございました。

先ほどリピーターを増やしていくとかありましたけども、学習面だけでなく、また会えたねっていう感じの人としての関わりがとてもすてきなと思いました。

大学生や大学に対する憧れが強くなったっていうこともありますが、けれども、どんなところでそう思えたのか、聞いてみたい気がします。

松元参事

ありがとうございます。

大学生や大学に対する憧れが強くなったということは、私たちもこういったロールモデルとして子供たちに接してもらえばということも目標の一つですので、ありがたいと思っています。

小・中学生が書いたアンケートに自由記述があるのですが、その中に書かれた表現でいきますと、例えば進路について相談ができたという中学生がいました。中学生の女の子なのですが、大学生に進路の相談をして、そういった自分の進路というのが見えたというか、はっきりしたということを書いていらっしやったことが

ありました。あと大学生から大学の様子を聞いてよかったということが書いてありました。やっぱり私たちは勉強のところで彼らに関わっていますけども、結構休憩時間もたくさん取ってしまっていて、そういったときも含めて様々な会話がなされていることが見えたところなんです。ですから、そういった部分も大事にしていければということを感じたところなんです。

梅津委員  
原田委員

分かりました。ありがとうございました。

梅津委員もおっしゃいましたように、すごくすばらしい取組だなと思っていて、普段とは違う環境で勉強することで新しい勉強に対する考え方とか刺激を子供たちが受けたのではないかなと思えました。ところで今回の参加申込者数は想定どおりの申込者数だったのでしょうか。想定数は何人ぐらい見込んでいらっしゃったのか教えていただけますか。

松元参事

ありがとうございます。

結論を申し上げたら、想定はできるだけ多くというのが想定になっております。本当は会場のキャパシティの問題もあるのですが、例えば市民学習センターには和室というのがあります、あそこが大体25から30ぐらい入るということを考えています。その隣の202という、いわゆる複数教室を考えていますので、できるだけ多くの生徒さんに参加していただきたいと考えています。教える学生の予算化した人数はありますが、教育長のほうからもそういった希望があれば断らないようにという指示をいただいていますので、教える大学生もしっかり確保した上で、小・中学生もできるだけたくさん集めたいと考えています。ですから、今後春休みがありますけども、しっかり一人でも多くの今回を上回る人数に来ていただいて、よさを味わってもらいたいと考えています。

以上となります。

原田委員

参加人数というのは、前年度やその前と比べて増減というのはいかがでしょうか。

松元参事

ありがとうございます。

島根大学の学生については、昨年度より多い人数となっています。昨年度は想定15人でスタートしたのですが、実際は13人とか、ぎりぎり15人の場合もありましたけども、今回松江高専に今年から初めて加わっていただいたことを含めて、去年の実績よりは増えました。

あと、小・中学生の人数につきましては、昨年より多いのですが、例えば夏休みに行った夏休みパワーアップ教室よりは少ない傾向はあります。時期が原因なのか、会場なのかわかりませ

んけども、そういったことを踏まえながら、内容や場所を決めていく必要があると感じたところです。

原田委員

ありがとうございます。

高市教育長

大学の学生さんは、面倒を見る子がほとんどいなくて手持ち無沙汰になるほどではなかったですよ。延べ人数はこれですけども、それぞれの日は学生1人に児童・生徒が1人は大体いるぐらいの人数の参加の具合だったように記憶しています。

松元参事

はい、そうです。ご指摘のとおり、そのような形となっております。ですから、1人の大学生につき1人の小・中学生がつくという事で、かなりマンツーマンに近い形というのが保障されているという形になっています。

原田委員

リピーターの子供たちも多かったということで、一回参加した子供たちの満足度がすごく高かったことがうかがえるのですが、一方で、うちの子も小学校でプリントを持って帰ってきたのですが、子供が興味を示さなくて、そのまま横に置かれてしまうっていうような現状もあるのではないかと思います。リピーターの子ももちろん、そしてさらに初めての子にも興味を持ってもらえるような、もうちょっと視覚的な仕掛けとかで今後案内していただけたら、保護者としても、子供たちとしても興味を持ちやすいのではないかなと思います。せっかくいい取組なので、できるだけたくさんの方にまずパワーアップ教室に行ってみたいと思ってもらえるような仕掛けが今後あるといいなと思いました。

松元参事

ありがとうございます。ご指摘のとおりと思います。

今回行った方法としましては、チラシをつくって、各学校を通して保護者、子供、家庭に届けたという形ですけども、そのほかとしましては、各学校の教職員に声かけしてもらおうということはやっていますけど、やっぱりそういった仕掛けなんかも必要だと考えていますので、今度春休みのときに意欲的に実践させていただきたいと考えています。ありがとうございます。

齋藤委員

今回都合がつかなくて行けなかったですが、3月はできたらぜひ見させていただこうかなと思っています。

重なる質問になるかもしれませんが、大体今マンツーマンに近い状態で学生と子供たちがフェース・ツー・フェースでできるということですけど、この2人の関係はこの期間中ずっと継続されるのですか。日ごとに、あるいは時間ごとによってペアは変更されるのでしょうか。

松元参事

お答えします。

組合せについては、特にこの子に合った学生をマッチングしてい

るわけではないですが、まず1日目に例えばAさんと学生Bさんが対面するとしますと、その日は基本的には同じ組合せになっています。ただ、2日目、3日目というときに、いろんな学生に触れてほしいということもありますので、替わりながらできる限り小・中学生にいろんな大学生に触れてもらいたいということで交代をしているところです。

齋藤委員 初日に組合せを決めるにあたって何らかの意図的なものがあったのですか。それとも、くじを引いたらたまたまそのペアになったというようなことでしょうか。

松元参事 そうですね。一応小・中学生が来たときに座席に座ってもらうのですが、自己紹介とかいろんな説明をした後に、学生が立って別の場所にいますので、そこから学生が自らまず出かけていきます。特に作為的なものではなく、その場で臨機応変に、関わっていくという形になっています。

ただ、配慮が必要といたしますか、私たちが把握している児童・生徒がいたときには、指導主事や教育委員の関係者が少し入りながらつなぐという場面もありました。

齋藤委員 子供が自分で手を上げて行動するという姿勢は全体的に低いことから、何らかの意図があって学生との結びつきを考えたのかなと思った次第です。ありがとうございます。

高市教育長 ありがとうございます。

また算数・数学パワーアップ教室、先ほど室長からもご説明させていただきましたが、春にも行います。委員の皆様方のご都合が合いましたらぜひ様子を見ていただきたいです。今回この中で学習しているのはいわゆる学校の教科書を勉強しているというより、学校の教科書からもっと外に出たような学習をしているというところですね。子供たちが積極的に関わって、大学生、高専生と一緒に学習をしているところの様子もぜひ見ていただければと思っています。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

高市教育長 それでは、以上をもちまして定例会を終わります。

次回は3月28日に定例教育委員会を開催いたします。よろしく願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

=終了時間 15時50分=

